



平成 22 年 5 月 25 日

報道各位

平成 22 年度 ACC 事業計画決まる 創立 50 周年記念事業も発表

社団法人全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：永田 圭司）では、5 月 24 日（月）に通常総会を開催し、50 周年記念事業や第 50 回 ACC CM フェスティバル（正式名称：2010 50th ACC CM FESTIVAL）の開催など、平成 22 年度の事業計画を決定しました。

当連盟は本年度、創立 50 周年を迎えますが、ACC にとって大きな節目となる年に、“CM の力”とは何かという根本的な課題に取り組んでいきます。50 周年を記念する事業は一過性のものではなく、CM 制作の未来を展望し、これからの 10 年に繋がることを実施していく考えです。50 周年記念事業と平成 22 年度の ACC 事業計画の概要は次の通りです。

平成 22 年度 ACC 事業計画概要

50 周年記念事業は、（1）ACC の最大事業である「ACC CM FESTIVAL」の充実（2）「CM の力 再発見」イベントの開催（3）ヒトに焦点を当てた「クリエイターズ殿堂」の設立—の 3 つを柱に展開していきます。

ACC CM FESTIVAL の充実については、新カテゴリー「マーケティング・エフェクティブネス部門」を設置し、新たな視点でも CM を評価していく考えです。また、ラジオ部門をより応募しやすい部門にするため、エントリー方式、審査内容・方法、審査員を見直していきます。「CM の力 再発見」イベントでは、「コマーシャル展覧会“CM の過去、現在、そして未来”」と「Art & Copy」映画上映会を 12 月に開催する予定です。また、歴代のグランプリ受賞作品、CM 殿堂作品を中心とした作品を収録した DVD を制作します（11 月初旬発売予定）。そして、優れた CM を長年作り続けた“ヒト”に焦点を当てた「クリエイターズ殿堂」を設立し、殿堂入りしたクリエイター達の思想・信条・プロフィール、CM 作品を、誰でも、いつでも、閲覧できるようにしたいと考えています。

また、各事業については、今年で第 50 回を迎える「2010 50th ACC CM FESTIVAL」を 50 周年基幹事業と位置づけ、本年も日本最高のスケールで権威ある広告賞として実施します。昨年に引き続き、審査委員長は佐々木宏氏が務め、総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド（テレビ CM ベスト 10・ラジオ CM ベスト 5）、ACC シルバー、ACC ブロンズなど各賞の選考を行います。なお、ラジオ CM 部門は、委員長・審査員を別に擁立し独自の審査を行い、また、新カテゴリーであるマーケティング・エフェクティブネス部門も専門の審査員が選考していきます。審査結果発表は 10 月 8 日の予定。贈賞式・記念パーティは 11 月 1 日にザ・プリンス パークタワー東京で行い、発表会は 11 月 11 日の東京・有楽町朝日ホールを皮切りに、全国 31 ヶ所の都市で順次開催。そして来年 2 月には、入賞



作品を網羅した年鑑を発行します。

国際交流事業においては、カンヌ ヤングライオン クリエイティブ コンペティション日本代表出場チーム選考のほか、カンヌ国際広告祭本部とのつながりを継続し、現地において日本からの参加への便宜を図るとともに、フィルム部門日本代表審査員を通じて、最新情報を入手していきます。

シーエム向上・啓発事業では、担当委員会の名称を「シーエム向上委員会」から「クリエイティブ委員会」に変更し、＜CMの過去・現在・未来＞を考える50周年記念イベントの開催を中心に活動を行っていきます。また、例年行っている学生CMコンクールはwebでの応募に変更し、引き続き行っていきます。

シーエム技術事業では、デジタル放送時代におけるCM表現の新たな技術的可能性を研究し、シーエム著作権事業では、CM著作権を中心とした諸課題について、広告主・広告会社・制作会社の三者の考え方を互いに理解、共有して問題点を整理していくとともに、CMアーカイブ化における著作権の研究、CM情報センターの活動状況の把握と調査、研究を行っていきます。

広報事業では、このようなACCの各活動を、年5回発行している会報「ACCtion!」のほか、ホームページを利用して、よりタイムリーに発信していきます。会報は50周年を機に、これまでの縦組みから横組みにリニューアルし、より手に取り読んでいただける会報を目指していきます。ホームページについてもリニューアルし、ACCの諸活動をよりタイムリーに発信していきます。また、50周年ロゴマークを作成し、すべての広報活動に活用し、50周年をアピールしていく考えです。

平成 22 年度 ACC 体制

理事長	永田 圭司	キヤノンマーケティングジャパン株式会社 顧問
副理事長	杉山 恒太郎	株式会社電通 取締役常務執行役員
〃	石川 康喜	株式会社 TBS テレビ 常務取締役
〃	仲小路 啓之	味の素株式会社 広告部長
〃	宮崎 晋	株式会社博報堂 専務執行役員チーフクリエイティブ オフィサー
〃	岡田 高治	太陽企画株式会社 代表取締役会長
専務理事	武藤 恒義	社団法人全日本シーエム放送連盟

【委員会委員長】

ACC 賞審査委員会委員長	杉山 恒太郎	株式会社電通 取締役常務執行役員
クリエイティブ委員会委員長	大谷 研一	株式会社博報堂 エグゼクティブアドバイザー 株式会社博報堂アーキテクト 代表取締役社長
技術委員会委員長	木村 克巳	株式会社エムワンプロダクション 取締役
著作権委員会委員長	貝原 武	株式会社読売広告社 コミュニケーションデザイン統括 ED
広報委員会委員長	生野 徹	東京ガス株式会社 広報部部長
総務委員会委員長	仲小路 啓之	味の素株式会社 広告部長

以 上



各事業の概要

1. 50周年記念事業

ACCにとって50周年という大きな節目となる年に、“CMの力”とは何かという根本的な課題に取り組み、記念する事業は一過性のものではなく、CM制作の未来を展望し、これからの10年に繋がることを実施していく考えです。また、50周年記念マークを作成しましたが、記念事業やすべての広報活動に活用し、50周年をアピールしていきます。記念マークのデザインは(株)電通第2クリエイティブ局アートディレクターの小島義広氏です。



50周年記念マーク

(1) 「ACC CM FESTIVAL」の充実

①ACC賞 新カテゴリー「マーケティング・エフェクティブネス部門」の設置

- * これは、クリエイティブだけではなく、マーケティング効果を統合的な視点で評価するユニークな賞です。CMを中心に、戦略的かつ効果的な広告活動を展開し、結果、商品の販売促進、ブランド価値の向上などビジネスに大きな成果を残した企画に贈られます。
- * 従来のテレビCM部門・ラジオCM部門がCM作品単体として、その表現アイデアの優秀さやユニークネスを基準として審査する部門に対し、マーケティング・エフェクティブネス部門は、CMを中心とした企画の仕組みや具体的な成果・効果を基準として審査します。
- * 応募はエントリーシートに仕組みと効果を記入、CM素材と共に提出していただきます。

【審査員】

審査委員長 秋元 康 審査委員 選考中

【スケジュール】

5月末 ACCホームページ「ACC CM FESTIVAL」欄に応募要領掲載
7月1日~7月31日 エントリー受付 (ACCホームページからエントリー)
9月16日 一次審査
10月5日 最終審査
10月8日 理事会承認、ニュースリリース配信 ホームページ掲載
11月1日 贈賞式・パーティ (ザ・プリンス パークタワー東京)

②ラジオ CM 部門の充実

*ラジオ CM 部門はテレビと切り離し、グランプリまでラジオ独自の審査を行います。ラジオの力を評価できる審査員を増やすとともに、企画 CM を強化し、ラジオならではの CM の仕組みを評価していきます。また、映像や写真などを使ったプレゼン資料など、エントリー方法を見直します。参加料を安くしたり、CDでのエントリーを受け付けるなど応募しやすくなるよう考えました。また、良い CM を推薦できる「推薦枠」枠も作りました。

*ラジオ CM 部門審査員（順不同、敬称略）

小田桐 昭（ラジオ CM 部門審査委員長）

林 屋 創 一	福 本 ゆ み	中 山 佐 知 子
井 田 万 樹 子	山 田 美 保 子	中 村 聖 子
岡 部 将 彦	福 島 和 人	直 川 隆 久
橋 本 祐 子	山 本 高 史	

(2)「CM の力 再発見」イベントの開催

12月2日（木）、3日（金）の両日に亘り、CM の力を再発見する記念イベントを開催します。まさに、CM の 50 年を体験する 2 日間です。

①「コマーシャル展覧会 “CM の過去、現在、そして未来”」の開催

*日時：12月3日（金）13：00～19：30（予定）

場所：有楽町マリオン内「有楽町・朝日ホール 11・12階」

*CM の「過去・現在・未来」をプレゼンテーションする場。

*歴代の ACC 賞入賞作品の中から、グランプリ受賞作品、CM 殿堂作品を中心に DVD 制作することとなっていますが（ACC 事務局とエイベックス・エンタテインメント（株）で 11 月初旬発売目標で作業中）、この DVD を素材としたシンポジウムを展覧会メニューの一つとして開催するほか、2010 カンヌ国際広告祭受賞 CM を中心とした過去のカンヌ入賞作品の鑑賞ブースや、CM 絵コンテ、CM 制作メイキング DVD など CM 制作工程をプレゼンテーションするコーナーなどを設置する予定。

②「Art & Copy」映画上映会の開催

*日時：12月2日（木）（予定）

場所：有楽町マリオン内 「有楽町・朝日ホール 12階」（午後 2 回上映予定）

* One Show を運営する世界有数の広告事務局である、米非営利団体 One Club がプロデュースしたドキュメンタリー映画「Art & Copy」が、世界の広告人の間で密かな話題になっています。この映画には、“Just Do It”、“I Love NY”、“Think Different”、“Got Milk”等、60年代の広告業界における「クリエイティブ革命」をきっかけに爆発的に才能を開花させたすばらしいクリエイターが登場し、クリエイティブについて語っています。電通が One Show から日本での公非営利での上映権を獲得しましたが、社内で公開するのではなく、より多くの業界人を対象にして公開すべきとの考えから、ACC に上映会開催の打診をいただきました。国際部会が検討し、50周年事業の一環として、同映画の上映会を開催することとなりました。

③ACC 賞受賞作品 CM 映像の DVD 化

* エイベックス・エンタテインメント（株）との共同制作で、1961年のACC賞第1回受賞CMから2009年の受賞作品まで、加えて歴代のパーマネントコレクション（CM殿堂）を対象にした、ACCの50年の歩みを彩るTVCMの選定集（DVD）を制作します。11月3日に発売予定。

(3) “ヒト”に焦点を当てた「クリエイターズ殿堂」設立

ACCは、CM表現の向上に関する各種事業の一環として、1983年7月に「ACCパーマネントコレクション」（通称：CM殿堂入り作品）を制定し、これまでに63本を選定してきました。CMという“モノ”が殿堂入りすると同時に、このような優れたCMを長年作り続けた“ヒト”に焦点を当てた、クリエイターの殿堂もあつてしかるべきではないか、との考えから、今回50周年を記念し、「クリエイターズ殿堂」を設立します。そして、殿堂入りしたクリエイター達の思想・信条・プロフィール、CM作品を、誰でも、いつでも、閲覧できるよう準備を進める考えです。

* 「クリエイター殿堂設立委員会」を編成し、選定基準や選考委員などを検討します。

< 設立委員候補 > (順不同、敬称略)

小田桐 昭 (オグルヴィー&メイザー)、坂田 耕 (アサツー ディ・ケイ)

杉山 恒太郎 (電通)、岡田高治 (太陽企画)、宮崎 晋 (博報堂)

* 基本スケジュール

6月～9月中旬 選定基準の設定・殿堂入りクリエイター選定

9月中旬 正副理事長会確認

10月上旬 理事会承認／記者発表（ACC賞発表と同時）

2. ACC フェスティバル事業

当連盟の活動の中心である「ACC CM FESTIVAL」を、50周年の基幹事業と位置づけ、日本最高のスケールで権威ある広告賞として、各界から注目を集める事業となることを目標に実施します。本年度も受賞者に名誉と誇りを感じていただくとともに、来場者にも喜んでいただき、広告界に話題を提供できる贈賞式・記念パーティを開催します。

(1) スケジュール

募集対象 : 【ラジオ CM 部門／テレビ CM 部門】 2009年7月1日から2010年6月30日までに社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたテレビ・ラジオ CM を対象とします。

【マーケティング・エフェクティブネス部門】 検討中です。

応募受付 : 応募は ACC のホームページ (<http://www.acc-cm.or.jp>) からエントリーをしていただきます。

【ラジオ CM 部門／テレビ CM 部門】 (土日は除く)

ネットエントリー : 6月1日(火)～6月30日(水) 15:00 締切り

作品素材提出 : 6月24日(木)～7月1日(木) 16:00 締切り

【マーケティング・エフェクティブネス部門】 (土日は除く)

ネットエントリー : 7月1日(木)～7月30日(金)

応募部門 : ラジオ CM 部門

(ラジオスポット CM/ラジオ CM/ラジオシリーズ CM<2~4本>/ラジオ企画 CM)

テレビ CM 部門

(テレビスポット CM/テレビ CM/テレビシリーズ CM<2~4本>/

テレビ Small Budget CM<制作費 300万円以下>)

地域ラジオ CM 部門／テレビ CM 部門

(テレビ Small Budget CM を除いた上記同内容)

マーケティング・エフェクティブネス部門

- * ラジオ CM 部門／テレビ CM 部門では最高作品賞である総務大臣賞／ACC グランプリ・ACC ゴールドのテレビベスト 10・ラジオベスト 5、ACC シルバー、ACC ブロンズ及び ACC ファイナリスト、地域ファイナリスト (各地域別) の各賞が贈られます。また、企画、演出、コピーなど、特にユニークかつ秀逸な技術・技能を提示した個人には特別賞、特に優れた演技力を発揮した個人ないしグループには演技賞が贈られます。
- * マーケティング・エフェクティブネス部門の賞については検討中です。

地域審査会：8月に全国7地区で審査（地域ラジオCM部門／地域テレビCM部門）

審査会：9月中旬～10月初旬

審査発表：10月8日（金）

*通常理事会開催後、メールにてニュースリリースを配信

贈賞式・記念パーティ：11月1日（月） ザ・プリンス パークタワー東京

入賞作品発表会：11月11日（木）東京・有楽町朝日ホールを皮切りに、

全国31ヶ所の都市にて順次開催されます

2011年版CM年鑑、DVD版の発行：2011年2月発行予定

(2) 審査員（敬称略）

【テレビCM部門／ラジオCM部門】

審査委員長 佐々木 宏

テレビCM部門審査員

小田桐	昭	堀井	博次	宮崎	晋
坂田	耕	秋山	晶	葛西	薫
岡	康道	多田	琢	澤本	嘉光
中治	信博	児島	令子	白土	謙二
箭内	道彦	黒須	美彦	福里	真一
古川	裕也	森本	千絵	谷山	雅計
中島	信也				

※なお、特別審査員が最終審査に加わります。

ラジオCM部門審査員

前掲の通り（4ページご参照）

【マーケティング・エフェクティブネス部門】

審査委員長 秋元 康

審査委員 選考中

(3) ジャーナリスト賞選考会の見直し

50周年を機にフェスティバル事業全体を見直した結果、本年度よりACC賞の新部門を設置することも鑑み、ジャーナリスト賞は廃止することとなりました。

3. 国際交流事業

海外広告賞を通じ最新の海外情報を提供することによって、広告に携わる方々の業務に役立てていただき、国内CM制作現場の質の向上に寄与するとともに、国際舞台で活躍できるクリエイターの育成を目指します。具体的にはフィルム部門 日本代表審査員を通じて最新情報を入手するとともに、「ACCカンヌヤングライオン国内選考会」（今年は

3月11日に実施)で日本代表チームを選出、国際部会が事前トレーニングを実施した上で、カンヌ国際広告祭に送り込む方針です。また、カンヌ国際広告祭本部とのつながりを継続し、現地ホスピタリティラウンジの開設、デレゲーションブースの確保等、日本からの広告祭参加者への便宜を図ります。

4. シーエム啓発事業

担当委員会の名称を「シーエム向上委員会」から「クリエイティブ委員会」に変更しました。CMの質的向上と人材の育成を目指し、以下の通りの諸活動を積極的に展開していきます。

- (1) イベント「コマーシャル展覧会 “CMの過去、現在、そして未来”」の実施
委員会の中で、プロジェクトチームを編成し、50周年記念に相応しいイベントを行います。
- (2) 第23回学生CMコンクールの実施
CM制作の新しい人材を育成する一助として、昨年同様実施します。なお、本年度よりwebによる作品受付となります。

5. シーエム技術事業

2011年のアナログ放送終了に伴う完全デジタル化に向けて、最新のCM放送制作技術に注目し、CM表現の新たな技術的可能性を研究し、ACC会報およびホームページ、パンフレットで案内していきます。活動テーマは以下の4つを予定しています。

- ① 3D映像に関する研究
- ② CM素材のファイル化に関する研究
- ③ CMの字幕表示に関する情報交換
- ④ デジタル放送時のCM音量基準に関する啓発

6. シーエム著作権事業

CM著作権を中心に、それらに関する諸課題について、広告主、広告会社、制作会社の三者の考え方を互いに理解、共有して問題点を整理するとともに、今後起こることが予想される様々な変化に対応できるよう検討、研究を継続し、必要に応じて適宜その成果を発表していく方針です。

- (1) 以下のような課題を整理します。
 - ① アドバイザーズ協会、広告業協会の間で発表された「広告取引基本契約モデル案」に対する検討。
 - ② デジタル化時代になり、使用媒体の拡大や、複製の容易化が進展していく中、新たな課題にどう取り組んでいくか。

- (2) CM のアーカイブ化における著作権の研究
公益目的の観点から、過去に制作された CM のアーカイブ化の問題点を整理し、その環境を整備していきます。
- (3) CM 情報センターの活動状況の把握と調査、研究
CM 情報センターの運営状況を把握するとともに、CM 情報センターの設置要綱に基づき、使用料及び活用料の用途について検討します。

7. 広報事業

会報、ホームページ、ニュースリリース、記者懇談会などを通じ、会員はもちろんマスコミにも積極的な広報活動を行い、ACC の活動を PR し、支援していただけるよう働きかけていきます。それと同時に、これらの活動を通して CM の質的向上に寄与するよう努めます。また 50 周年記念のロゴマークを作成し、すべての広報活動に活用し、アピールしていきます。

(1) 会報の発行

50 周年を迎えるに当たり、会報をリニューアルし、よりインパクトのある ACC ならではの会報を目指していきます。特に体裁をこれまでの縦組み右開きから横組み左開きに変更し、読みやすさを追及していく方針です。ACC の活動や理念を多方面から発信するとともに、タイムリーな執筆陣や読み応えのある対談企画などを提供し、幅広い読者から共感を得られる会報にしていきます。会報とホームページを連動させ、活発に情報発信したい考えです。

(2) ホームページのリニューアル

現行のホームページの構成とデザインを一新して、より多くの方に訪問、利用してもらえるホームページを目指します。そして ACC の活動や委員会の情報などをタイムリーに発信し、広く会員内外に対して積極的に PR していきます。

8. 総務委員会

総務委員会では、ACC の基本となる業務・総務事項の方針策定を目的に設置され、今年度も次のような活動を行っていきます。

(1) ACC の事業計画、予算の管理

ACC の様々な各委員会活動を円滑に進めるにあたり、委員会別の予算管理を行い、健全な事業運営を目指します。

(2) ACC 運営の統括

運営の核となる正副理事長会議や理事会、そして総会に至るまでのスムーズな運営を図ります。

(3) 顕彰事業の実施

鈴木 CM 賞、ACC 理事長賞、ACC 貢献賞の選出等の顕彰事業を行います。鈴木



社団法人 全日本シーエム放送連盟

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5F TEL 03-3500-3261

CM賞の贈賞は毎年11月に行われるACC CM フェスティバルの贈賞式の席上で、一方ACC 理事長賞とACC 貢献賞は、毎年5月に行われる通常総会において行います。

以上

この件に関するお問い合わせ先

(社) 全日本シーエム放送連盟 (ACC)
〒105-0004 東京都港区新橋3-1-11 長友ランディックビル5F
TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263
ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>
担当 : 小原